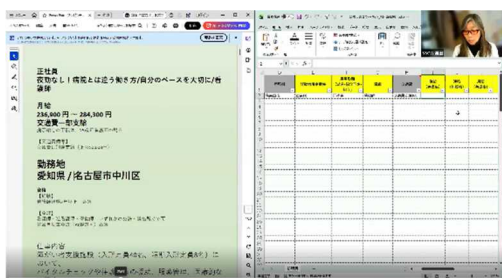


秋田県在住障がいのある方向け「テレワーク就業おしごと体験会」開催

2025年11月25日（火）に秋田県在住障がいのある方向けに「テレワーク就業おしごと体験会」をオンラインにて開催しました。実際の業務を体験し、現役テレワーク従業員との交流を通じて就労イメージを深めることを目的としました。



（おしごと体験の様子）



（従業員の池田様）

① おしごと体験会：テレワーク業務体験（データ入力）

株式会社スタッフサービス・クラウドワーク様で実際に行われている業務を体験しました。

今回は、インターネット上のデータを調査・抽出し、Excel でデータを管理する作業をおこないました。

参加者の声

「データ入力という単純な作業のように思えたが、入れたい情報が Excel の項目にないことがあり、どれを選択するか迷うことがありました。分からない部分は質問するという行為が大事だと感じました。」

② 交流会

同社にてテレワーク就業中の池田様にご参加いただき、就労経験や取り組みについてお話しいただきました。池田様は後天的障害により車いすユーザーとなり、治療・リハビリ後に就職活動を開始。当初は通勤型勤務をし、体調不良をきっかけにテレワーク就業へ移行しました。

■ 入社前の準備

パソコンを使う業務に備え、自主的にパソコン関連資格を取得。

■ 就職してよかったこと

家族や支援員から支えられる立場から、自分で収入を得て一人暮らしが可能に。また形あるもので感謝を伝えられるようになったこと。

■ 仕事中大変なこと

テレワークでも、障害や地域、経験の異なる同僚とのコミュニケーションに工夫が必要であること。

■ これから就労する方へのメッセージ

就労にはそれぞれのハードルがあると思いますが、実際に働いてみると選択肢は想像以上に多いということを感じています。「やってみたい」と思うことを声に出し、周囲を頼りながら挑戦することでわくわくできる未来につながると思います。

参加者からの質問

質問：「仕事をする前に資格を取ったほうが良いですか？」

回答：「業務に合った資格を取得することをおすすめします。仕事に役に立つだけでなく、目標に向かって挑戦する姿勢を学び、資格取得後には自信にもつながりました。」

今回のおしごと体験会を通じて、テレワーク就業でもコミュニケーションが大切になることがわかりました。疑問点をそのままにせず、積極的に質問する姿勢が重要であり、オンライン環境でも相互理解を深める工夫が必要だと感じました。また、業務内容に応じたスキルや資格の準備することは、自信を持って仕事に取り組む姿勢につながります。可能性を自分自身で狭めることなく挑戦し続ける姿に刺激を受けました。

本体験会は、令和7年度「障がい者とシニアの活躍応援事業」の一環として実施しました。

現在、**働き方発見セミナーのアーカイブ配信／就職説明会**のお申し込みを受け付けています。

【お申し込み方法】

ご希望の方は、以下 URL またはメールにてお申し込みください。

○URL <https://rec.fofa.jp/022/a.p/743/>

○メールアドレス akita-ouenpjt@staffservice.ne.jp

